

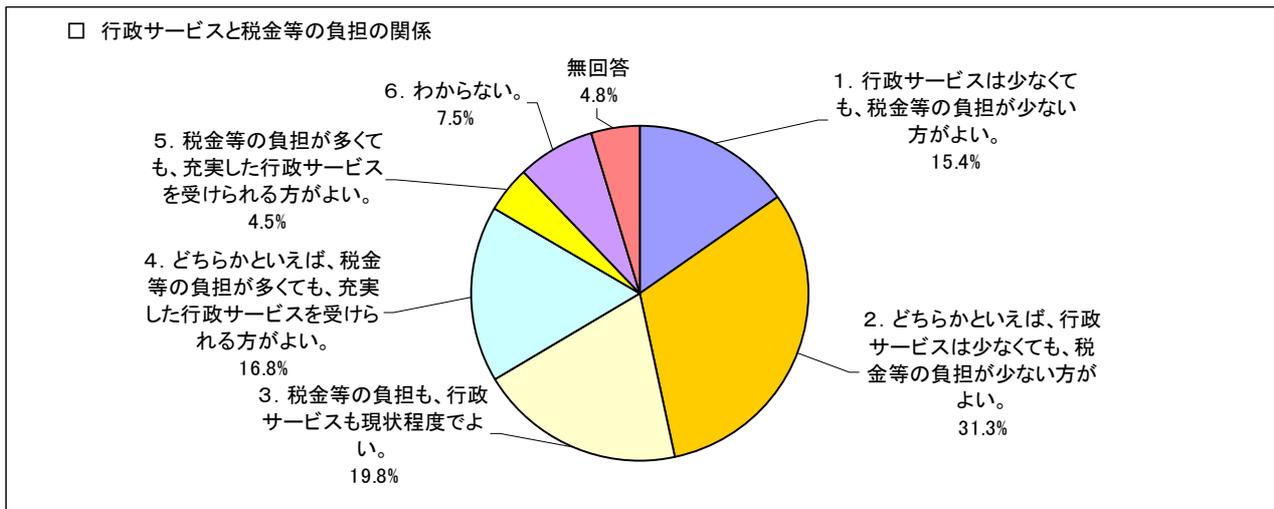
4. 今後の行政サービスと税金等の負担の関係

行政サービスに伴う「給付と負担」に関する県民意向を把握したものである。

「どちらかといえば、行政サービスは少なくとも、税金等の負担が少ない方がよい」と回答した者が最も多く、全体の31.3%となっている。

逆に、「税金等の負担が多くても、充実したサービスが受けられる方がよい」は最も少なく、4.5%となっている。なお、無回答として処理したものの中には、「税金等の負担が少なくても、充実したサービスが受けられる」と記入した者も見受けられた。

性別、年代別等の属性区分ごとに、明らかな差は認められなかった。



5. “とちぎ”づくりの参加意向

今後の“とちぎ”づくりに向けた県民の参加意向を把握したものである。

「できる範囲で何かしたい」を選択した者が圧倒的に多く、全体の74.4%を占めている。次いで、「積極的に何かしたい」が6.8%となっており、これらの「・・・何かしたい」という参加意向を有している者の割合は、全体の8割を超えている。

性別、年代別等の属性区分ごとに、明らかな差は認められなかった。

